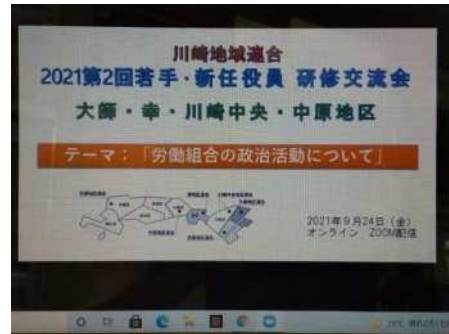


川崎地域連合 2021第2回若手・新任役員研修交流会

大師・幸・川崎中央・中原、4地区合同による「2021第2回若手・新任役員研修交流会」が9月24日(金)15時30分より、23名の参加でZoom開催されました。



はじめに、

①地域連合紹介

- ・連合の組織 雇用者数全体 約5992万人(2021年7月時点)
- ・労働組合員数10,115万人(連合=689.3万人)(48産別・47都道府県)
- ・神奈川=(約36万人)(9地域連合)
= (横浜・川崎・三浦半島・西湘・湘南・小田原足柄・厚木愛甲・相模原・県中央)
- ・川崎地域連合=(6.7万人)(6地区連合)
= (北部・中原・幸・川崎中央・大師・田島)

【連合の役割について】

1. 地域を創る、くらしを守る

イデオロギーを前面に出さず、社会の不条理に立ち向かい働く者の雇用と生活と健康を守り向上させるため、政策制度要求や政治とかかわりを持ち、働きやすい社会を創る。

2. 地域で働く仲間を支える

地域で働く、暮らす一人ひとりにとって身近な問題を解決し、働く者・生活者本位の政策を実現していく。また、自分達よりも弱い立場にある労働者の処遇改善につとめる。

3. 連合の仲間をつなげる

職場や企業を超えて、地域や産業、就業形態など、多様に働く仲間たちと情報交換をおこない連携を深める。

②労働組合の政治活動(選挙に行かせることだけが、政治活動ではない)

- ・政治は身近だけど、遠く感じる存在➡原因は何か、各政党の方向性の確認が必要
- ・投票率が低い要因について➡政治家に対する信頼度が極めて低く、克服が必要
- ・政党による方向性の違い➡寛容的・覇権的、自己責任・セーフティネット強化
- ・連合の政策(協定書)➡推薦又は支持をするにあたり議員候補と交わす約束
- ・政治活動をソーシャルキャピタル手法で行う➡ボンディング・ブリッジング
- ・ブリッジングを活用した政治活動➡組織と議員、職場と議員、役員と議員



連合の政治テーマ 5つの安心の橋

- ① 学ぶことと働くことをつなぐ
- ② 暮らしと働くことを
- ③ 働くかたちを変える
- ④ 離職から就労へつなぐ
- ⑤ 健康・長寿社会をつくる

③ 日本の課題と解決策

1. 立憲民主党の政権公約

2. 自民党長期政治の検証と問題整理

- ・ 日本の課題～成長の制約要因
(人口減少) (少子高齢化) (莫大な財政赤字) (長引くデフレ)

- ・ 日本再生への処方せん
(少子化対策の実行) (外国人労働者受入れ) (歳出見直しの実行)
(歳入改革の実行) (成長戦略の実行)

以上について、資料をもとに細かく丁寧に解説してくれました。

《感想》

産別活動については恥ずかしいですが、よく理解も出来ていないまま、単組外の活動の一つとして、学習会やセミナー、定期大会に定期総会などに参加してきましたが、いろいろある活動の中で、川崎地域連合や川崎中央地区連合の役割については、さらに理解できない状態ではあったものの参加していました。

今回のセミナーでは、組織と役割についての説明が解りやすくされたことで、川崎運送労働組合も構成組織の一部を担っていることを、理解できました。

川崎運送労働組合

書記次長 大内 祐介